

EGOTAN通信

— 江古田小学校 研究だより —

令和元年6月12日
中野区立江古田小学校
研究推進委員会
第3号



EGOTAN

研究主題 認め合い、思いやりをもって生きる児童の育成

— 自他のよさを知ることを通して —



EGOTAN

第2回研究授業報告 ～5月31日(金)～

第2学年 図画工作科「形と色でイメージしてつたえあおう」 授業者：藤森 真朱

講師：一般財団法人 教育調査研究所 研究部長 寺崎 千秋先生

【本時のねらい】

形と色から自分のイメージをもち、伝え合う活動を通して発想の広がりを楽しむ。

【授業のポイント】

本時は、形・色がそれぞれ異なるカードを用いて、形・色から発想を広げる学習を行いました。児童自身が形、色、イメージを感覚でとらえながら、「なぜそれを選んだのか」を自分なりに考えて、伝え合いました。正解を決めるのではなく、人によって感じ方の違いがあり、その違いをお互いに理解して認め合うことが授業のポイントです。また、対話を通して言葉の表現力を磨かせ、対話を楽しむ姿勢及びコミュニケーション能力を育て、豊かな人間性を育むための基礎を培っていきけるような授業作りを目指しました。

【授業の様子】



【児童の発言から】

- ・友達が、「人の鼻の形に見える。」と言っていたのがおもしろかったです。
- ・(「やわらかい」の言葉のイメージから)ホイップクリームに見えたのでこのカードを選びました。
- ・いろいろな色や形から想像するのが楽しかった。
- ・一人ひとりが違って、いろいろな考えがあることが分かりました。

【講師の寺崎先生より】

今回は、図画工作の鑑賞の学習が行われました。同じ形のカードでも色を変えることでそのカードからイメージされるものが変わるのがおもしろく、教材に工夫が見られ、児童が活発に楽しそうに活動していました。課題を示した時の「イメージとはどういうことですか。どんなことをすることですか。」という発問がよかったと思います。問題を正確に把握して取り組むことはどの教科の学習でも重要なことです。今回の学習のように答えが一つではない課題において大切なのは、振り返りの時間であると考えます。全体で振り返りをする際に、今日の活動における「学びの価値」を共有し、児童が自身の学びを自覚することで学びに広がりや深まりが出ると思います。

様々なご指導をいただきました。今回の研究授業を生かして、より一層、授業力向上に努めていきます。